

令和7年度 神奈川県知事杯 神奈川県大学バレーボールリーグ戦 開催要項

主催：神奈川県大学バレーボール連盟
共催：(一財)神奈川県バレーボール協会
主管：神奈川県大学バレーボール連盟

I：試合日程及び運営

- 1、開催期間及び会場 令和7年6月7日（土）～6月8日（日）
会場：神奈川大学横浜キャンパス 13号館体育館・東海大学湘南キャンパス総合体育館
- 2、大会運営 加盟各校学連員を中心にリーグ戦を円滑に行うように心がけること。
- 3、開閉会式 開会式：実施しない
閉会式：全試合終了後に実施する

II：大会参加資格

- 1、チーム参加資格 （下記の条件を満たしていること）
 - ・令和7年度 神奈川県大学バレーボール連盟加盟校および登録者であること
 - ・本大会にエントリーされていること
 - ・人数不足のチームは合同チームでの参加が可能ですので、合同チームでの参加をご希望の場合は学連にご相談下さい <連絡先：046-247-1511 松蔭大学バレーボール部長 白井まで>
- 2、大会出場の選手
スタッフ手続き
 - ・スタッフ、選手はエントリー届に基づきプログラムに記載されていなければならない
 - ・スタッフ、選手のエントリー人数は部長(当該大学教職員)、監督、コーチ、トレーナー、マネージャー(当該大学生)各1名、選手のエントリーは9人までとする
 - ・部長以外のスタッフを変更する場合及びプログラムに記載されていない選手をエントリーする場合は、大会当日の第1試合開始前までに本部に臨時役員変更届またはエントリー変更届を提出し、許可を得て構成メンバー表に記載されていることで変更手続きが完了する
また、選手でエントリーされている人がスタッフを行う際も、臨時役員変更届を提出すること

III：大会申し込み手続き

- 1、エントリー 締切り日【2025年 5月 20日（火）18時まで】
※エントリー締切り後に入部した者がいる場合、初日の8:30に大会本部にてエントリー追加可能

- 2、年度登録料 大会参加に先立ち、令和7年度のチーム登録料を支払うこと
年度登録料は6千円とする
- 3、大会参加料 エントリー届を提出し、受付後の変更はどのような理由があっても一切認めないので注意のこと
原則としてエントリー締め切り期日までに振込みを完了すること
参加料は5千円とする ※1大学から2チーム出場する場合はチーム毎に参加料を支払うこと
- 4、写真について 全チームユニフォーム着用にて集合写真を撮影すること
撮影に際しては必ず番号が確認できるように撮影すること

IV：競技・審判

- 1、競技規則 本大会は2025年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則による
- 2、競技方法
- ・男子1部2部、女子1部2部ともに総当りのリーグ戦とする
 - 但し、参加校数によっては変更する場合がある
 - ・総当り戦の順位から次年度ランキングを決定する
 - ・全試合3セットマッチとする
 - ・給水の為のタイムアウトについては熱中症防止の観点から、室内温度が30度以上になることが予想される場合は、試合開始前に給水タイムアウトを採用することを各チームに伝える
 - ※チームスタッフは給水タイムアウト時には、選手と控え選手に接触（選手への声掛け等）をしてはならない。接触した場合は注意事項となる

- 3、競技開始時刻 入場可能時刻、試合開始時刻は以下の通り設定する。

	入場可能時刻	第1試合開始時刻
第1日目	08：30	09：30
第2日目	08：30	09：30

- ・大会期間中プロトコール（公式練習）は設けない
 - ・チームが正当な理由なしに定められた時間までに選手が6人以上競技場に現れない場合は不戦敗となる
- 4、試合使用球 本大会の使用球は下記とする
- 男子・・・モルテン製カラーボール（V5M5000）
- 女子・・・ミカサ製カラーボール（V300W）
- 5、組合せ 試合組合せは令和7年度（2025年度）ランキングに基づき作成する
- 6、審判 補助に当たるチームは出来る限り審判資格取得者が主審・副審を担当する

7、競技選手・

スタッフメンバー提出

(1) 試合当日のコンポジションシートの提出について

- ① エントリーする18名（選手14名 + ベンチスタッフ4名）を構成メンバー表に青ペンで記載し、本部へ提出すること
- ② 第1試合は開始設定時刻の30分前までに本部受付へ提出すること
- ③ 第2試合目以降は会場入場後に本部受付へ提出すること
但し、第2試合目以降のチームは前の試合開始前に提出しないこと
- ④ 構成メンバー表提出後の変更は認めない
- ⑤ 部長以外(監督・コーチ・トレーナー・マネージャー)のスタッフを変更する場合は臨時役員変更届にて学連担当者に申し出ること
- ⑥ 部長はチームスタッフではないため監督・コーチ・トレーナー・マネージャーとしてベンチに入ることとはできない。但し、部長とチームスタッフを兼任している場合はチームスタッフとしてベンチに入れる。部長としてベンチに入る者はチームスタッフとしての行為はできない

(2) 正規の競技者とリベロ競技者の人数割りにについて

13名以上選手エントリーするときは2名のリベロ・プレーヤーを登録しなければならない

- (3) 当日はエントリーする18名（選手14名 + ベンチスタッフ4名）を構成メンバー表に青ペンで記載し、本部へ提出すること
- (4) 学生以外のスタッフについて、男女同一大学の試合当日のベンチ入りスタッフを兼任することを認める。但し、男女同一大学の試合時間が重複した場合は男女どちらか1つのチームにエントリーを行うこと

- 8、選手交代手順
 - ・各セット開始前に提出されたラインアップシートの変更は、セカンドレフェリーがスコアラーに手渡した後は認められない
 - ・交代する選手はサイドライン上でセカンドレフェリーの指示に従い、合図によって交代する
尚、複数の選手交代の場合はセカンドレフェリーの指示に従うこと

9、選手・スタッフ

の途中参加 選手・スタッフの試合中の途中参加はその都度できる
(遅れる場合は事前に、審判・学連委員に申し出ること)

10、試合時のベンチ

- ・ウォーミングアップのネット及びボールの使用を認める。
但し、隣接するコートにボールが入らないようにボールキーパーを配置すること
- ・ボールカゴ及び部旗等は競技エリア外へ出し、当該コートのフリーゾーンの端に置くこと

部旗は壁に立てかけず、床に倒して置くこと

- ・ベンチには飲料水、救急用具等の最低限の必需品以外を持ち込まないこと

1 1、ユニフォームについて

- ・ユニフォームナンバーの大きさは、胸部側は高さが15cm以上、背部側は高さが20cm以上であり、文字幅は2cm以上のものでなければ着用を認めない
- ・ユニフォームのナンバーの色はユニフォームと対照的な色（はっきりと区別がつく色）と明るさでなければならない
- ・チームキャプテンは高さ8cm、幅2cmのユニフォームと異なった色のキャプテンマークを腹部の番号の下に明瞭に付けること
- ・ソックスについては長さとし、ベリーショートソックスのようなくるぶしが見える短いソックスは認めない
- ・アンダーウオーマー、スパッツ及びコルセットについてはユニフォームの下に隠れるように着用し、外部に露出しないように注意すること（膝関節の医療用装具を除く）
- ・リベロの着用するユニフォームは、他の競技者とはっきりと区別がつく色（対照的な色）でなければならない（例：競技者の胸の部分が紺色で袖の部分が白色の場合、リベロの胸の部分が白色で袖が紺色のような反対デザインのものは禁止とする）
- ・リベロと他の競技者とのユニフォームの色が共に2色以上を用いる場合、それぞれが同色を用いないように注意すること
- ・エントリー届提出後、大会期間中はユニフォーム番号の変更は原則として認めない。但し、やむを得ない事情がある場合は、第1試合開始前までにエントリー変更届に記入して許可を得ること
- ・1選手の重複番号の使用は認めない。また、1つのユニフォーム番号につき1選手とする。使用するユニフォーム番号は1～99番とする

1 2、リベロ・プレーヤーの取扱いについて

- ・リベロが負傷や病気、退場、失格等によりプレーの続行が出来なくなった時は監督または監督が不在の場合はゲームキャプテンが、いかなる理由であってもプレーできなくなったことを宣言することができる
- ・リベロがプレーできなくなったと宣言されたときは監督（監督不在の場合はゲームキャプテン）が、ファーストレフェリーの許可を得てベンチ入りしているプレーヤーをリベロとして再指名することができる（リベロと交代してベンチに戻っている競技者を除いて、ベンチにいる競技者であれば誰でも良い）

- ・リベロと再指名されたプレーヤーは、その試合終了までリベロとしての登録となり、もとのプレーヤーには戻れない
- ・2人のリベロが記録用紙に記入されているチームは、そのうちの1人がプレーできなくなってもリベロ1人で試合をすることができる。再指名は認められないがもう一人のリベロも試合でプレーの続行ができなくなった場合は他の選手を試合終了までリベロとして再指名することができる
- ・再指名されたリベロがプレーが出来なくなった場合は更にリベロを再指名することができる
- ・監督がセカンドレフェリーに、口頭で「リベロの再指名」を要求する。そのとき、リベロと再指名される競技者は、リベロ・リプレイスメントゾーンに準備をして立っていなければならない
(再指名された競技者はビブスを着用するか、リベロと同じユニフォームを着る)
しかし、ユニフォーム番号は登録者自身の登録番号と同じものを着用する
- ・リベロがコート上にいるときでも再指名をすることができる
- ・セット間にリベロの再指名をしたいとき、監督はリベロを再指名することを副審に伝える
- ・リベロとして再指名された選手はその試合を通してリベロとして試合に出場しプレーすることができる。再指名されたプレーヤーはその試合終了までもとのプレーヤーに戻ることはできない。
正規にチームに登録されていたリベロはその試合終了までプレーヤーとしては戻れない

1 3、ワイピング行為について

- ・クイック・モッパ―は当該チームから2名まで配置することができる。服装はユニフォーム・スタッフウェア以外の統一されたもので行う
- ・クイック・モッパ―がいない時はコート上の選手が行うことができる
- ・試合開始前、タイムアウト及びセット間におけるワイピングはベンチの控え選手またはクイック・モッパ―が必ず行うこと
- ・クイック・モッパ―が応援及びチームのマネージメント行為（ドリンク、アイシング作り等）をすることは一切禁止とする。それらの行為はチームに対しての警告となる

1 4、競技全般の不法行為の取扱い

- ・2025 年度（公財）日本バレーボール協会 6 人制競技規則による
- ・不法な行為については、同一人物の同一試合での繰り返し行為には、累進的な制裁を受ける
- ・「非スポーツマン的行為」及び「不法な行為」については、そのプレーヤー・スタッフに対し、試合全体を通して罰則が与えられる。「攻撃的行為」については、1 回目で失格とする

1 5、試合前の待機中のチームについて

- ・試合終了後の挨拶が終了するまでフロア外に待機すること

16、部長・チームスタッフについて

- ・当該大学生以外の場合、部長・マネージャー以外の全ての役職を行うことができる
- ・部長は当該大学の教職員でなければならない
- ・部長・監督は原則として季節に応じた正装とする。ただし、ネクタイ不要
- ・コーチ・トレーナー・マネージャーは原則として季節に応じた統一された服装とする
短パン、ハーフパンツ等は原則として許可されない。※部長・監督がトレーニングウェアを着用する場合は、スタッフ全員が統一されたものを着用すること。ランニングシャツ等は不可とする
- ・試合中の中断の要求ができるのは監督とゲームキャプテンだけである
- ・監督が試合中に妨害あるいは遅延を行わない限り、自チームベンチ前のアタックラインの延長線から競技コントロールエリアのコーナーにあるウォームアップエリアまでのフリーゾーン内で立ちながらも歩きながらも指示を出すことができる
- ・レフェリーの判定に対するアピールや抗議、監督自身がライン判定をする行為を禁止する。この行為は制裁の対象となる
- ・試合中、相手チームに対して、選手を牽制するような言動は認められない。（相手チーム選手の番号や名前を特定する行為）このような行為は制裁の対象となる
- ・部長、監督、コーチ、トレーナー、マネージャーは役員章（部・監・C・T・M）を付けなければベンチに入ることができない。※ただし、左胸につけること

17、学生補助役員

- ・学生補助役員は18名（主審1名、副審1名、スコアラー1名、リベロチェック1名、ラインジャッジ4名、点示1名、ボールリトリバー6名、特別記録員3名）で行う
- ・ラインジャッジはレフェリーの一員として正確なジャッジをすること
- ・点示員は試合を観戦することなく正確な得点表示をすること
- ・ボール・リトリバーは、ラリー中は中腰姿勢を維持すること。座り込んだり・注意散漫になったりしないこと。ボールをサーバーに渡す時以外は投げずに、迅速に床に転がし試合の運営に当ること。サーバーにボールを渡すリトリバーはインプレー中ボールを保持すること
- ・人数が不足する場合は、第1試合開始前までに本部に申告すること
- ・チームで統一された服装（ユニフォーム可）で行い、任務を遂行すること

18、リーグ戦の順位決定方法

*1. 勝敗

*2. セット率 総得セット÷総失セット これを算出し高い方が上位

*3. 得点率 総得点÷総失点 これを算出し高い方が上位、得点率も同じ場合

※2チームの場合は当該校同士の試合の勝ちチームが上位

19、次年度ランキングの決定方法について

神奈川県大学リーグ戦大会では、毎年参加校数が一定しないため、1部2部間の入替戦を実施せず次年度ランキングを決定する方法を採用しています

その決定方法は、1部下位2校は2部上位2校の下に位置します

ただし、1部5校以下の場合は1部下位1校が2部上位2校(2部が5校以下の場合は1校)の下に位置します

例えば参加校数が12校の場合、1部6校・2部6校で実施します

その場合、1部1位から1部4位までは次年度ランキング1位から4位となり、2部1位と2部2位が次年度ランキング5位・6位となり、1部5位と1部6位は次年度ランキング7位・8位となります。そして、次年度の参加校数が10校だった場合は、1部5校・2部5校で実施するため、1部は次年度ランキング5位までの5校となり、2部は次年度ランキング6位以下の5校で実施することになります。尚、参加校数による1部・2部の振り分けは以下の通りとします

参加校数	1部	2部
8校	4校	4校
9校	5校	4校
10校	5校	5校
11校	6校	5校
12校	6校	6校
13校	5校	8校
14校	6校	8校
15校	6校	9校
16校	8校	8校

20、表彰

優勝杯（1部優勝チーム）

賞状（1部1位～3位チーム、2部1位～2位チーム）

個人賞（スパイク賞・ブロック賞・サーブ賞は各部1位、セッター賞・リベロ賞は各部1名）

21、その他

本大会（神奈川県大学バレーボールリーグ戦大会）の上位チームは、必要に応じて同年に開催される「天皇杯・皇后杯全日本6人制バレーボール選手権大会神奈川県予選会」への大学枠での出場を推薦するものとする

V：会場使用上の注意

- ・横断幕等を貼る際には各会場の注意事項に従い適切に行うこと
- ・会場で出たごみは各チーム(各自)責任をもって持ち帰ること
会場にごみを放置したまま帰る等の行為は禁止する
会場や駅など会場周辺のごみ箱は使用しない
- ・電源使用は注意事項を確認すること
無断で電源使用をしているチームが発覚した場合、メディアごと本部にて回収する
- ・喫煙については喫煙所以外での喫煙を禁止とし、指定場所以外での喫煙を目撃した場合は該当チームを出場停止処分とする（チーム内で必ず徹底すること）
- ・飲食する際は手洗い・うがい・手指の消毒を行うこと
- ・貴重品等の盗難に関して当連盟では一切の責任を負わない
各チーム荷物の管理は徹底すること
また、忘れ物・紛失物に関しては会場本部にて管理する（大会開催中のみ）
貴重品以外の忘れ物・遺失物は大会終了時に処分する
- ・チームの荷物の置き場は、会場にて学連員に確認すること
- ・翌日の試合のために荷物を置いて帰る場合は学連委員の指示に従い、他のチームのことも考慮して最小限のスペースに収まるよう協力すること
- ・チームの勝手な判断による荷物の放置は一切禁止とする
また、チームの荷物の紛失に関しても当連盟では一切の責任を負わない